

第91回 定時株主総会 株式会社ユニバンス

2024年 6月26日

監査報告

「連結計算書類に係る 独立監査人の監査報告書」

報告書 31～32ページ

「計算書類に係る 独立監査人の監査報告書」

報告書 33～34ページ

「監査等委員会の監査報告書」

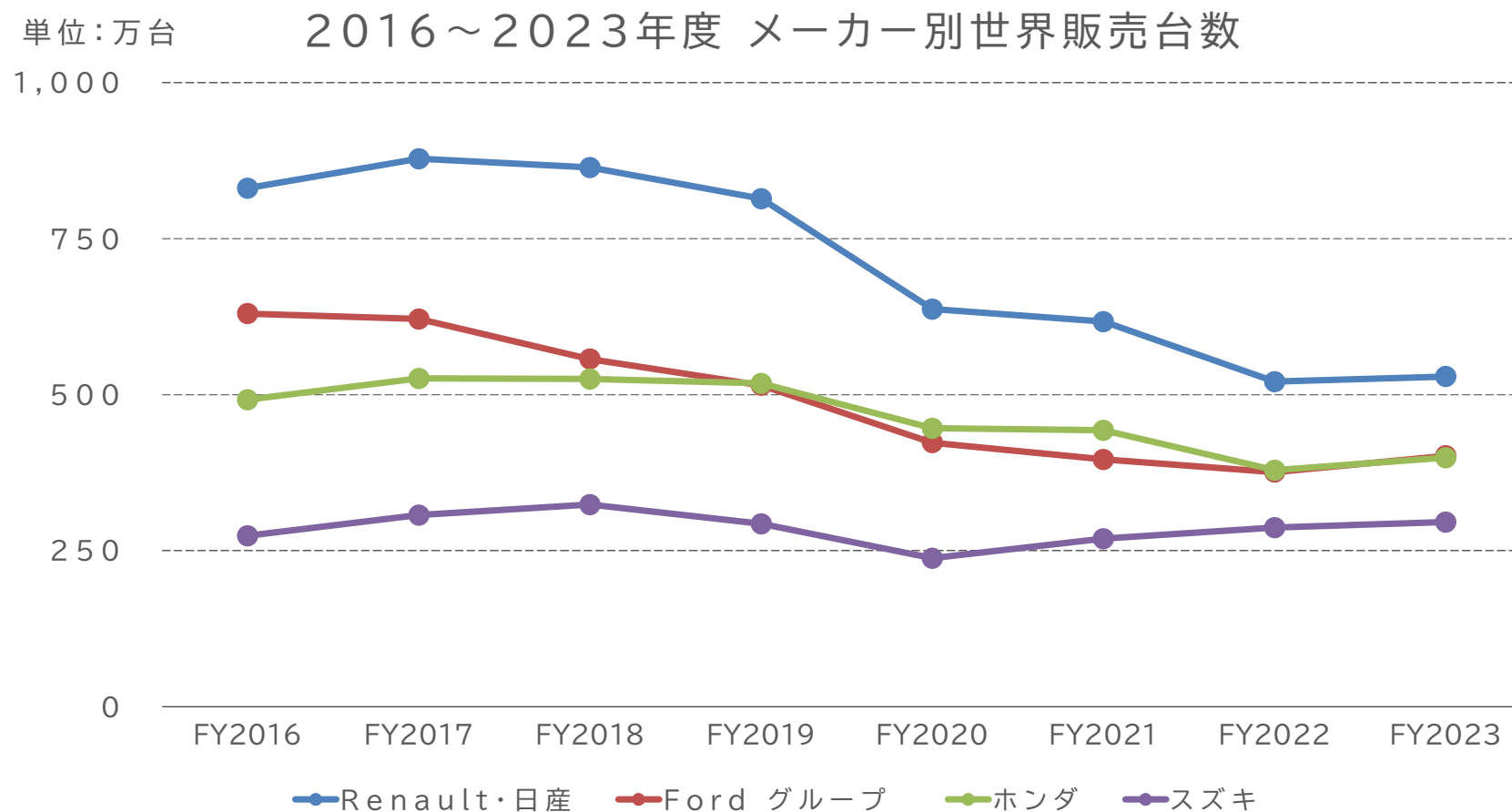
報告書 35～36ページ

事業報告

「事業報告」

報告書 4～24ページ

当社グループを取り巻く環境



連結経営成績（通期）

〈単位：億円〉

	第90期 通期	第91期 通期	前期比較	
			増減額	増減比率
売上高	486.0	527.7	41.7	8.6%
営業利益	11.5	43.7	32.3	281.5%
経常利益	11.0	45.4	34.4	314.3%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	7.9	17.7	9.9	125.1%

対前年度比較

増収増益

売上高
（増収）

円安に伴う為替換算影響に加え、半導体供給不足やサプライチェーン混乱による顧客の生産調整が解消し、販売が堅調に推移したこと、加えて原材料価格およびエネルギー価格高騰に対する販売価格への転嫁が進んだこと等により増収

営業利益
（増益）

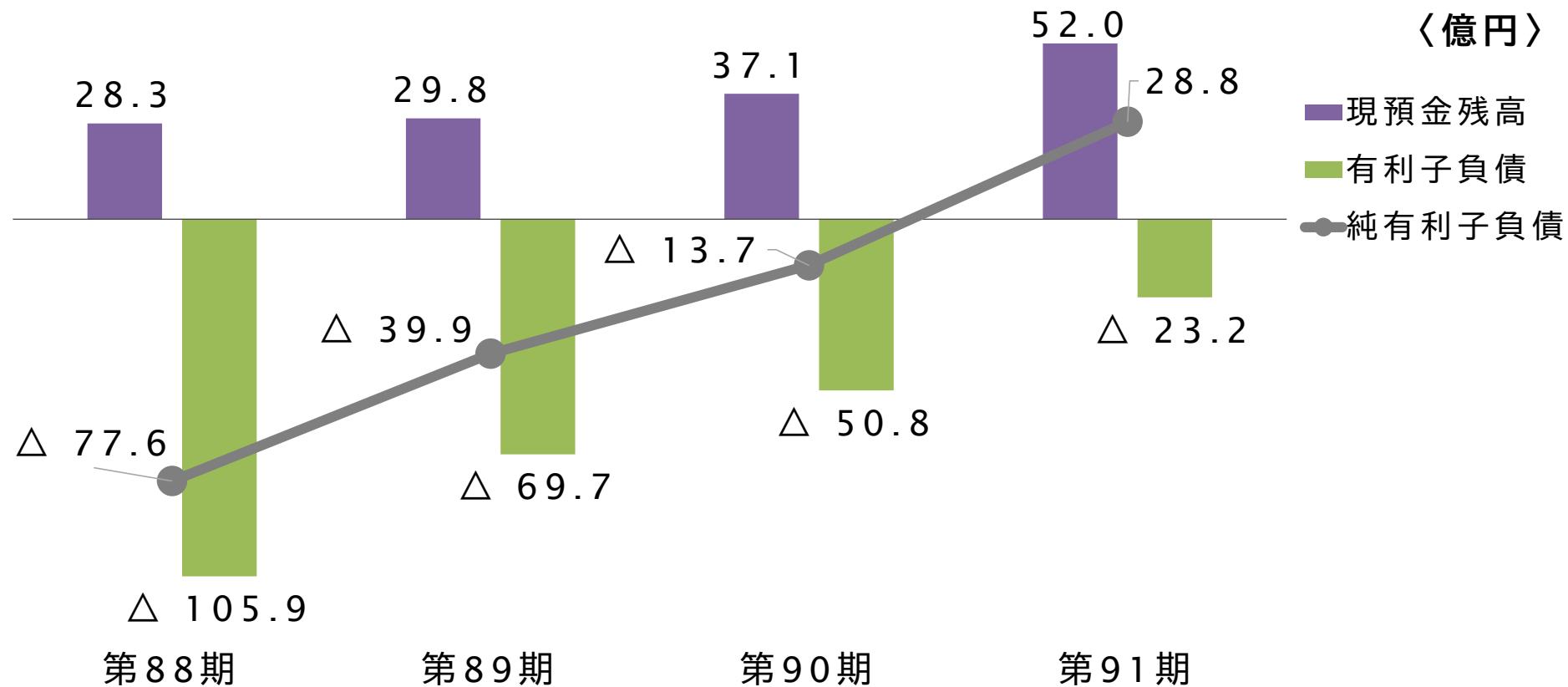
売上増加影響に加え、一部製品の商流変更に伴う輸送費の削減、日本での生産体制の構造変革、さらには製品保証引当金について顧客との負担金額の案分割合の変更（戻し入れ）等により増益

事業セグメント概要

〈単位：億円〉

業務区分	第90期		第91期		増 減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ユニット事業	314.8	12.6	341.1	34.9	26.4 (8.4%)	22.3 (177.2%)
部品事業	170.9	△1.2	186.2	8.6	15.2 (8.9%)	9.8 (—%)
その他事業	0.3	0.2	0.4	0.2	0.1 (19.6%)	0.0 (19.6%)
連結消去	—	△ 0.1	—	0.1	— (—)	0.1 (—)
合 計	486.0	11.5	527.7	43.7	41.7 (8.6%)	32.3 (281.5%)

有利子負債と現預金残高の推移（連結）



設備投資等の状況

設備投資総額 **16.7** 億円

事業セグメント別主要投資

◆ ユニット事業	8.3 億円
◆ 部品事業	8.4 億円
◆ その他事業	— 億円

重要な子会社の状況

会社名	資本金	当社の出資比率	主要な事業内容
株式会社遠州クロム	10 百万円	100.00%	特殊メッキ加工業
株式会社ウエストレイク	15 百万円	100.00%	物流容器の洗浄および構内作業
富士協同運輸株式会社	10 百万円	100.00%	貨物梱包業務
株式会社富士部品製作所	15 百万円	100.00%	自動車部品の製造販売
ユニバンス INC.	19 百万US\$	100.00%	自動車部品の製造販売
PT. ユニバンス インドネシア	48 百万US\$	98.13%	自動車部品の製造販売
ユニバンス タイランド Co., Ltd.	202 百万THB	100.00%	自動車部品の製造販売
ユニバンスアメリカ INC.	123 千US\$	100.00%	北米地域における営業及び市場調査

重要な子会社の状況（海外生産拠点）

UIVANCE(Thailand) Co.,Ltd. タイ

4WDトランスファー生産拠点



特徴：材料投入から加工、組立の同期生産



FR-トランスファー



FF-トランスファー

PT. UIVANCE INDONESIA インドネシア

駆動系部品の生産拠点



特徴：歯車（ギヤ）の材料からの一貫生産



FF-トランスファー



ギヤ / スリーブ

UNIVANCE INC.

米国

自動車及びATV用部品



特徴：市場の多様性に対応した製品



FF-トランスファー



フランジ



プーリー

主要な事業内容

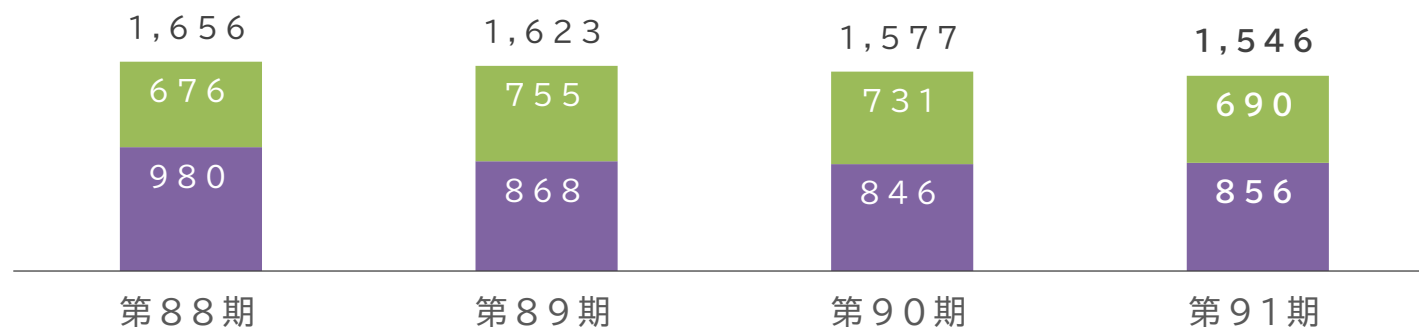
事業区分	事業内容	主要製品
ユニット事業	四輪駆動装置	FR 4WD車用トランスファー、FF 4WD車用トランスファー、4WD用コンポーネント、ATV用コンポーネント
	ギヤボックス	SUV・商用車用マニュアルトランスミッション、EV・HEV用ギヤボックスおよびギヤ
	産業機械	農業機械用トランスミッション、建設機械用減速機、フォークリフトトランスミッション用ギヤ
部品事業	部 品	AT・CVT用部品、デフ用部品、ワンウェイクラッチ、トランスミッション用部品、エンジン用ギヤ
その他事業	物流・工場附帯サービス	物流容器の洗浄、構内作業、貨物梱包業務

企業集団の現況に関する事項

従業員の状況

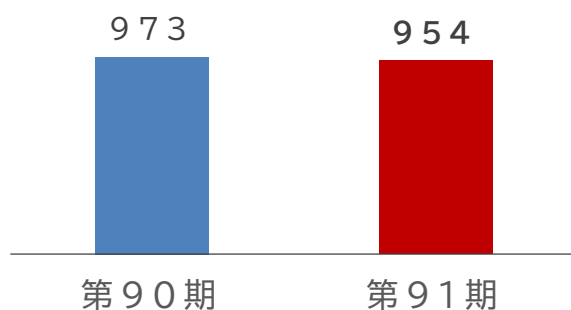
従業員数推移

■ 当社 ■ 連結子会社 〈単位：人〉



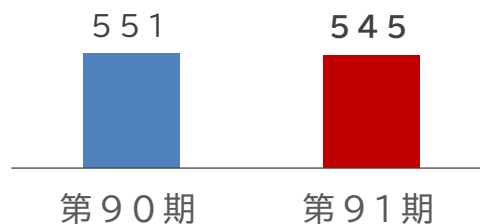
ユニット事業（連結）

〈単位：人〉



部品事業（連結）

〈単位：人〉



その他事業（連結）

〈単位：人〉



企業集団の現況に関する事項

主要な借入先および借入額

借入先	借入額
株式会社 静岡銀行	17.5億円
株式会社 みずほ銀行	4.5億円
株式会社 商工組合中央金庫	1.2億円

企業集団の現況に関する事項

コミットメントライン契約の状況

借入先	契約額	借入実行残高	借入未実行残高
株式会社 静岡銀行	5.0 億円	—	5.0 億円
株式会社 みずほ銀行	5.0 億円	—	5.0 億円
合 計	10.0 億円	—	10.0 億円

会社の株式に関する事項

(1) 発行可能株式総数

80,000,000 株

(2) 発行済株式の総数

23,396,787 株

(自己株式 2,566,762株を含む)

(3) 株主数 4,355 名

(4) 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率
鈴木 一 和 雄	2,211	10.62%
スズキ株式会社	1,937	9.30%
大同特殊鋼株式会社	1,900	9.12%
株式会社静岡銀行	956	4.59%
鈴木 真 保	485	2.33%
谷 史 子	477	2.29%
宮 本 愛 子	433	2.08%
谷 典 幸	382	1.84%
株式会社みずほ銀行	330	1.58%
株式会社ミツバ	312	1.50%
計	9,424	45.25%

会社役員に関する事項

取締役の状況

会社における地位	氏 名	担当および重要な 兼職の状況等
代表取締役 会長 兼社長 (会長兼社長執行役員)	鈴木 一和雄	内部監査室 担当
取締役 副会長	谷 典幸	
代表取締役 副社長 (副社長執行役員)	高尾 紀彦	経営全般(社長補佐)、PT. ユニバンスインドネシア取締 役会長
取 締 役	志藤 昭彦	株式会社ヨロズ 代表取締役会長、 マークラインズ株式会社 社外取 締役

会社における地位	氏 名	担当および重要な 兼職の状況等
取 締 役 (監査等委員・常勤)	三好 通生	
取 締 役 (監査等委員)	森嶋 正	森嶋公認会計士 事務所 代表
取 締 役 (監査等委員)	谷田部 栄夫	八重洲菖蒲法律 事務所 代表
取 締 役 (監査等委員)	山本 あつ美	山本あつ美公認会計士 事務所 所長、株式会社 IKホールディングス 社外取締役(監査等委 員)、株式会社ニイタカ 社外取締役(監査等委 員)

会社役員に関する事項

(ご参考)
執行役員

会社における地位	氏 名	担 当
技術統括執行役員	村松 通泰	技術統括
執行役員	藤崎 一	財務担当責任者 グループサポート本部 本部長 経営管理部門、総務部門、情報管理部門、関係会社 管掌
執行役員	谷 健輔	新事業推進部門 管掌 P T . ユニバンスインドネシア 取締役
執行役員	大石 哲司	品質保証部門 管掌 品質保証最高責任者 マネジメントシステム管理責任者
執行役員	白井 由仁	営業部門、購買部門 管掌 U V C (J A P A N) 取締役 営業部 部長 (兼務)
執行役員	鈴木 一郎	財務 (財務会計・資金管理) 担当
執行役員	磯貝 隆行	事業開発本部 本部長 技術部門 管掌 ユニバンス I N C . 取締役 (正) 環境管理責任者 (正) 安全衛生責任者

会社役員に関する事項

取締役の報酬等

区 分	支給人員 (名)	報酬等の総額 (千円)	報酬等の種類別の総額(千円)	
			固定報酬	役員賞与 ※
取締役(監査等委員を除く) (うち社外取締役)	5 (1)	71,050 (5,600)	61,050 (4,800)	10,000 (800)
取締役(監査等委員) (うち社外取締役)	4 (3)	35,000 (15,400)	30,000 (13,200)	5,000 (2,200)
合 計 (うち社外役員)	9 (4)	106,050 (21,000)	91,050 (18,000)	15,000 (3,000)

※ 役員賞与については本総会第4号議案にて上程

会社役員に関する事項

社外役員に関する事項

① 他の法人等の業務執行者、社外役員の兼職状況

地 位	氏 名	兼 職 す る 法 人 等	兼 職 の 内 容
社 外 取 締 役	志 藤 昭 彦	株 式 会 社 ヨ ロ ズ マ ー ク ラ イ ン ズ 株 式 会 社	代 表 取 締 役 会 長 社 外 取 締 役
社 外 取 締 役 (監 査 等 委 員)	森 嶋 正	森 嶋 公 認 会 計 士 事 務 所	代 表
社 外 取 締 役 (監 査 等 委 員)	谷 田 部 栄 夫	八 重 洲 菖 蒲 法 律 事 務 所	代 表
社 外 取 締 役 (監 査 等 委 員)	山 本 あ つ 美	山 本 あ つ 美 公 認 会 計 士 事 務 所 株 式 会 社 I K ホ ー ル テ ィ ン ク ス 株 式 会 社 ニ イ タ カ	所 長 社 外 取 締 役 (監 査 等 委 員) 社 外 取 締 役 (監 査 等 委 員)

会社役員に関する事項

社外役員に関する事項

② 当事業年度における主な活動状況 取締役会および監査等委員会への出席状況

地 位	氏 名	取締役会（18回開催）		監査等委員会（14回開催）	
		出席回数	出席率	出席回数	出席率
社外取締役	志藤 昭彦	17 回	94.4%	—	—
社外取締役 （監査等委員）	森嶋 正	18 回	100.0%	14 回	100.0%
社外取締役 （監査等委員）	谷田部 栄夫	18 回	100.0%	14 回	100.0%
社外取締役 （監査等委員）	山本 あつ美	13 回	92.9%	10 回	100.0%

会計監査人の状況

(1) 名 称 有限責任 あずさ監査法人

(2) 報酬等の額

	支払額(千円)
当事業年度に係る会計監査人の 報酬等の額	32,000
当社および子会社が会計監査人に支払うべき 金銭その他の財産上の利益の合計額	32,000

会社の支配 に関する 基本方針

「当社の財務および事業の方針の決定を
支配する者の在り方に関する基本方針
(会社の支配に関する基本方針)」

報告書 21～24ページ

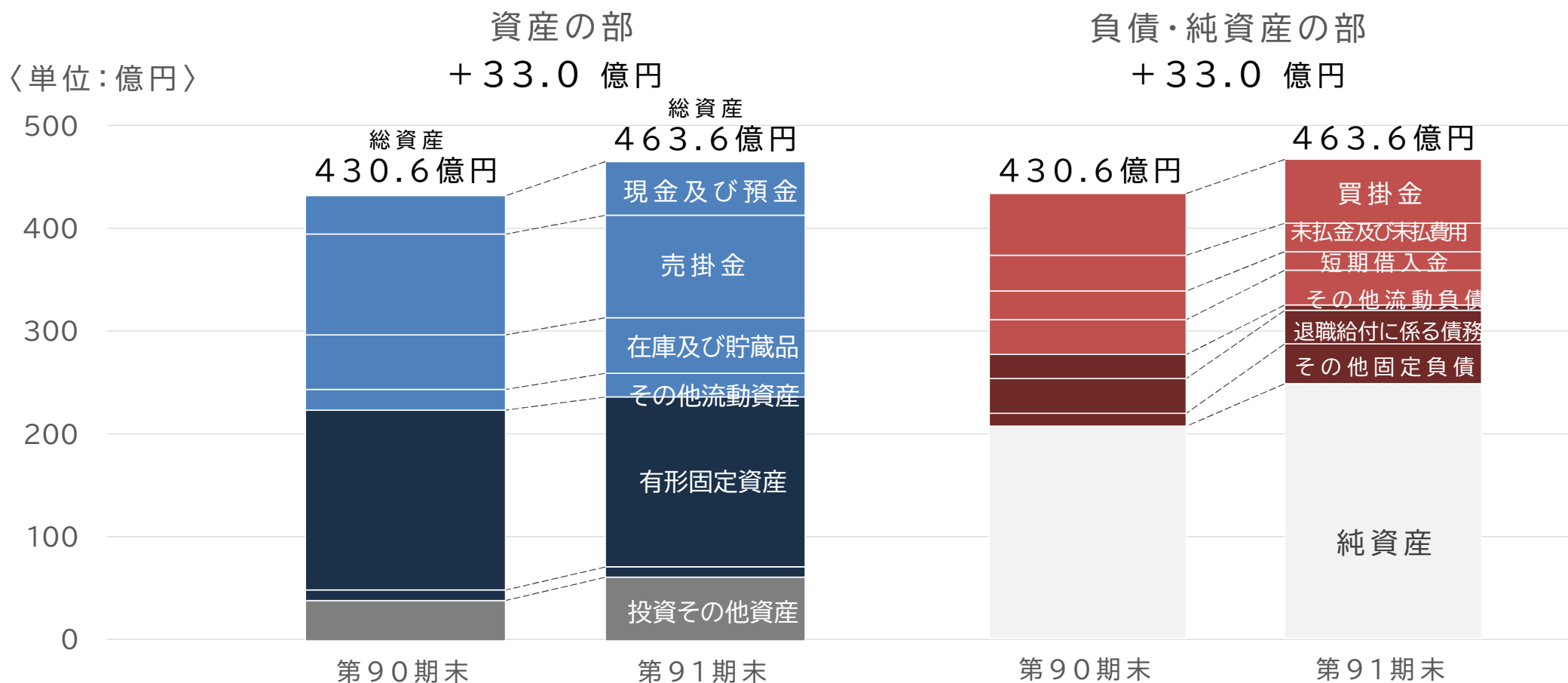
財務諸表

「連結貸借対照表」「連結損益計算書」
「連結株主資本等変動計算書」

「貸借対照表」「損益計算書」
「株主資本等変動計算書」

報告書 25～30ページ

連結貸借対照表の報告



連結損益計算書の報告

科 目	金 額（億 円）	売 上 高 比 率
売 上 高	5 2 7 . 7	1 0 0 . 0 %
営 業 費 用	4 8 4 . 0	9 1 . 7 %
営 業 利 益	4 3 . 7	8 . 3 %
営 業 外 収 益	2 . 3	0 . 4 %
営 業 外 費 用	0 . 7	0 . 1 %
経 常 利 益	4 5 . 4	8 . 6 %
特 別 利 益	0 . 8	0 . 2 %
特 別 損 失	2 1 . 8	4 . 1 %
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	2 4 . 4	4 . 6 %
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	1 7 . 7	3 . 4 %

連結株主資本等変動計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで（単位：億円）

	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他有価 証券評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	35.0	21.7	124.2	△6.9	174.0	14.6	15.8	1.1	31.5	205.5
連結会計年度変動額										
剰余金の配当			△1.9		△1.9					△1.9
親会社株主に帰属する 当期純利益			17.7		17.7					17.7
自己株式の取得				△0.0	△0.0					△0.0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額 (純額)						15.4	9.3	0.6	25.3	25.3
連結会計年度中の変動額合計	－	－	15.9	△0.0	15.9	15.4	9.3	0.6	25.3	41.2
当期末残高	35.0	21.7	140.0	△6.9	189.8	30.0	25.2	1.7	56.8	246.6

連結子会社遠州クロムの環境対策について

発生事象

浜松市の当社連結子会社、遠州クロムの工場敷地内地下水の自主調査により、環境省令に定める基準値を超える、特定有害物質六価クロムを検出したため、調査結果を浜松市に報告
その後の浜松市の水質調査で0.56mg/L※を検出し、令和5年12月2日付で公表
※環境基準の28倍、排水水の排水基準の1.1倍

初動対応

遠州クロムを中心に半径500m圏内の51軒の井戸水の水質調査実施
⇒環境省令に定める基準値の超過なし(令和5年12月27日付で公表)
☆ 行政および弊社グループに住民の健康問題に関する報告なし

推定原因

平成23年水濁法改正までの間の六価クロム地下浸透による、敷地地下土壌の高濃度化 及び 地下水汚染
最大土壌溶出量 580mg/L、基準の11,600倍(平成25年測定値)
☆ 平成23年より、メッキ工程の六価クロム漏洩防止強化および汚染地下水の拡散防止策(還元剤投入と揚水浄化)を推進し、地下水の自主調査を実施

連結子会社遠州クロムの環境対策について

今後の対応と現在の状況

対応方針 近隣住民と従業員の安心・安全を最優先として対応する

対策の狙い 汚染地下水の拡散防止を図り、尚且つ根源である汚染土壌の掘削除去を行い、将来の健康及び環境リスクの低減を行う

対策内容 行政当局および専門家のご指導のもと推進

		2023年度計上		(単位：億円)	
対策内容	具体的対応策	実施済	将来の引当	※将来の 資産投資	費用合計
1 地下汚染水の流出防止	遮水壁、揚水浄化、地下水監視	0.5	0.6	1.7	2.8
2 六価クロム土壌漏洩の強靱性向上	メッキ設備の高床式化と床面強化	-	-	3.3	3.3
3 汚染土壌の掘削除去	操業しながら段階的な土壌掘削	-	19.8	-	19.8
4 近隣への一時コストの補償	生活用水、休業・商品の補償	0.0	-	-	0.0
計		0.5	20.4	5.0	25.9
		20.9		※2024年以降の設備投資見通し	

現在の状況 1. 遮水壁の設置完了し、遮水壁外の水質調査で水質環境基準内を継続
2. 3. の具体的な工順を検討中
☆ ユニバンスグループとして、リスクマネジメントプロジェクトを発足し
潜在的なリスクの洗出しおよびリスクアセスメントを推進する

連結子会社遠州クロムの環境対策について

土壌及び地下水汚染の検出場所



遮水壁及び土壌掘削場所



対処すべき課題 VISION2030

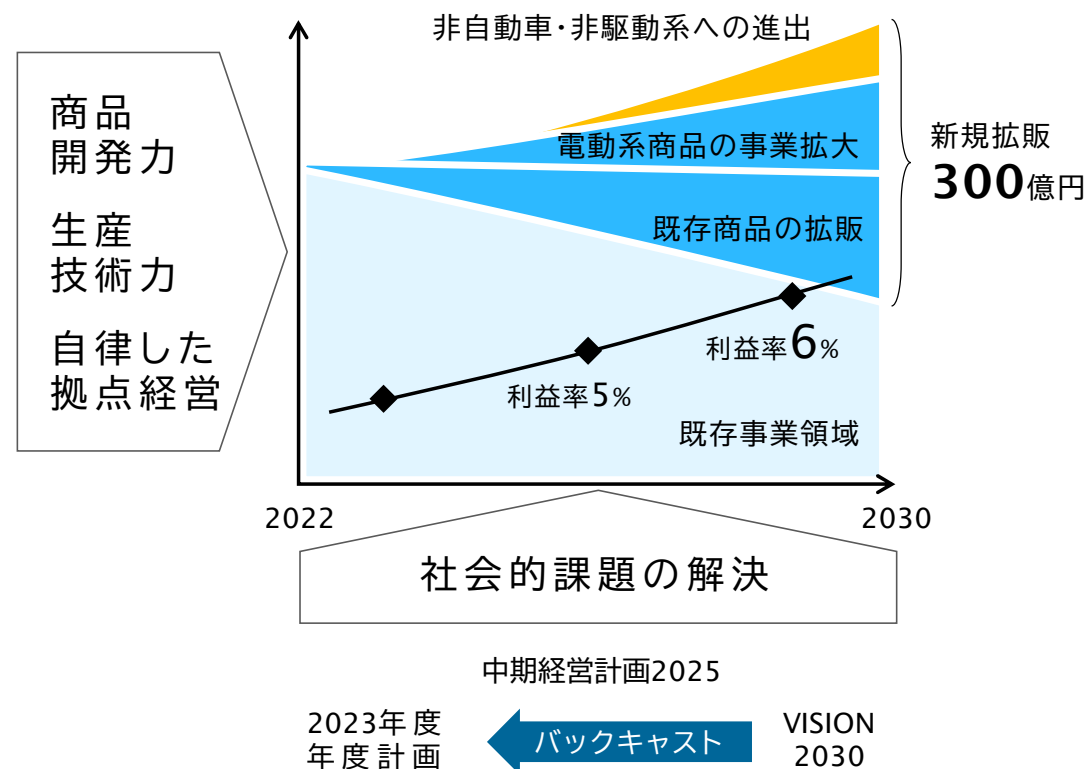
環境認識 気候変動リスクなどの社会環境や労働環境の変化により
事業環境が大きく変化している

VISION2030目標

- ◆ 新規拡販 **300** 億円
- ◆ 営業利益 **6** %

目標達成のための取り組み

- ◆ **社会的課題**の解決
- ◆ 既存事業の**収益力向上**
- ◆ 既存事業領域の**拡販**
(既存商品の拡販・電動系商品の事業拡大)
- ◆ **新規事業**の創造
(非自動車・非駆動系への進出)



対処すべき課題 ～2023年度の振り返り～

◆ 社会的課題の解決

- ◆ 関係会社で環境問題が顕在化した

- ◆ カーボンニュートラル活動

活動目標 2030年度 ▲50%、2050年度 ▲100%（2012年度比CO₂排出量）

活動実績 2023年度 ▲31%（計画目標達成率 100%）

◆ 既存事業の収益力向上（自律した拠点経営）

日本：構造変革（製造に品証・生産管理機能を取り込むこと）により、
製造現場の課題に早くアクションすることができ、競争力向上につながった

北米：人材流動性が高く、人材の定着率を維持することが難しい
作業管理に依存したものづくりでは、お客さまからの引合いを断らざるを得ない

◆ 商売創り（既存事業領域の拡販、新規事業の創造）

- ◆ 2023年度は多くの引き合いはあったものの、3億円しか受注につながらなかった

- ◆ お客様の電動化戦略は多様化（EV・PHEV・HEV・FCV）している

トランスファー：EV化シフトは段階的である

電動モビリティ：乗用車以外のモビリティ（商用車、2・3輪、船舶）の顧客ニーズを掴めている

対処すべき課題 ～2024年度 社会的課題の解決～

ステークホルダーの皆さまに安全・安心・信頼を提供できる、継続的な企業となるため、潜在リスクへの対応と企業価値創造への発展に取り組む

◆ カーボンニュートラル推進プロジェクト

『工場・設備省エネ』、『LCA』、『再エネ導入』、『サプライチェーンにおけるCO₂削減』
当社グループ全体で活動を進める

◆ リスクマネジメント推進プロジェクト

企業継続のために法令遵守を確実に履行する
そのために潜在リスクの抽出を行い課題解決に取り組む

◆ DX推進プロジェクト

業務プロセスを変革し、働き方改革を実現する

対処すべき課題 ～2024年度 既存事業の収益力向上～

自律的な経営のため、北米の生産拠点のものづくりを変えていく

◆ 北米ものづくり変革プロジェクト

新規拡販のため、現地社員により運営できる生産基盤の構築

2024年度は、入社1ヵ月の人材がQCDを満足できるラインづくりに取り組む

対処すべき課題 ～2024年度 既存・新規事業領域の拡販～

拡販は、より商売につながるよう、重点的に取り組む領域を定め、進める

既存事業領域の拡販（既存商品の拡販・電動系商品の事業拡大）

- ◆ **トラック4WDプロジェクト**
- ◆ **農機プロジェクト**
- ◆ **e-Mobilityプロジェクト**

新規事業の創造

- ◆ **航空機プロジェクト**（バリュー創出プロジェクトから独立）
- ◆ **バリュー創出プロジェクト**（要素技術開発（ものづくり）から事業化へ）
- ◆ **新事業開発**（ニーズベースから事業化へ）

質疑応答

- ◆ ご発言される株主様は、
挙手をお願いいたします
- ◆ 議長がご指名いたしましたら、
その場でご起立のうえ、
株主出席票の番号とお名前をお願いいたします

決議事項

「株主総会参考書類」

報告書 37～46ページ

第1号議案

報告書 37ページ

剰余金処分の件

(1) 期末配当金

1株につき、金6円

(中間配当金を含めた年間配当金は、1株につき金11円)

(2) 剰余金の配当が効力を生じる日

2024年6月27日

第2号議案

報告書 38～40ページ

取締役(監査等委員である取締役を除く。)4名選任の件

候補者 番号	候補者の氏名	当社における現在の地位
1	鈴木 一和雄	代表取締役会長兼社長(会長兼社長執行役員)
2	谷 典幸	取締役副会長
3	高尾 紀彦	代表取締役副社長(副社長執行役員)
4 ※	志藤 昭彦	取締役

※印は、社外取締役候補者であります

第3号議案

報告書 41～42ページ

監査等委員である取締役2名選任の件

候補者 番号	候補者の氏名	当社における現在の地位
1 ※	森嶋 正	監査等委員
2 ※	岡野 隆男	———

※印は、社外取締役候補者であります

第4号議案

報告書 44ページ

役員賞与支給の件

役員賞与総額 15,000千円

(うち監査等委員分 5,000千円)

第5号議案

報告書 44～46ページ

取締役に対する業績賞与の一部を譲渡制限付株式報酬とする 制度の導入の件

- 業績賞与全体の50%を当社の普通株式で支給する制度
- 付与する当社の普通株式に一定の譲渡制限を付する
- 付与する株式の上限額及び上限数

	上 限 額	上 限 数
監査等委員でない取締役	年額 250,000千円以内	年 50,000株以内
監査等委員である取締役	年額 50,000千円以内	年 10,000株以内

第91回 定時株主総会 閉 会

株式会社ユニバンス

2024年 6月26日